

伊勢半本店 コラボレーション企画

手仕事ギャラリー

『Authentic Aesthetic ー岩田俊彦 作品展ー』

会期 2020年11月14日(土)～12月20日(日)

※ 会期を春から変更して開催いたします

伊勢半本店は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期していた手仕事ギャラリー
オーセンティック エスセティック
『Authentic Aesthetic ー岩田俊彦 作品展ー』を、2020年11月14日(土)より12月20日(日)
まで、紅ミュージアムにて開催いたします。

漆工芸の伝統的な技法を用いつつ、現代の感性に溶け込む蠱惑的な美術作品を既成概念にとらわれない表現で制作する漆芸作家 岩田俊彦氏。精巧と大胆が共存する岩田氏のこれまでのアートワークと、それを紅板(リップパレット)に表現した作品を通し、漆工芸の新たな魅力に迫ります。



(手前から時計回りに 小町紅 チョウニケシ、ハチニシュロ、クモニサボテン)

陰から浮かび上がるように1色の漆のみでモチーフが表現されている紅板

オーセンティック エッセティック
手仕事ギャラリー 『Authentic Aesthetic—岩田俊彦 作品展—』

【開催概要】

「手仕事ギャラリー」は、伊勢半本店が、「日本伝統の技」を未来へ繋ごうとする活動や、途絶えた伝統技法の復元に尽力する取り組みなどを支援するため、2018年よりはじめ、今年3年目を迎えます。

漆は、艶やかな美しさを持った堅牢な塗料として、美術工芸品から日用品に至るまで様々な形で親しまれてきました。本年は、漆工芸の技巧を用いつつ、稀な色彩感覚と表現で妖美な美術作品を創作する漆芸作家 岩田俊彦氏の作品展を開催します。

Authentic-正統な技術-と Aesthetic-稀な感性-によって日常の中にくすぶるような余韻を残す岩田氏の創作の世界に触れ、既成の概念にとられない新たな漆工芸の魅力をご堪能ください。

会 期:2020年11月14日(土)～12月20日(日)

会 場:紅ミュージアム

開館時間:10:00～17:00(入館は閉館の30分前まで)

休 館 日:毎週月曜日 ※会期中、日曜日も開館します

観 覧 料:無料

主 催:伊勢半本店

※ 今後も感染症拡大状況、政府や東京都の勧告を踏まえ、会期・開館時間の変更、入場制限等を行う場合がございます。弊社WEBサイトで最新情報をご確認の上、ご来場ください。

【作家プロフィール】

岩田俊彦 / Toshihiko IWATA



1970 神奈川県鎌倉市生まれ

1999 東京藝術大学美術学部工芸科漆芸専攻卒業

2008 「モンブラン ヤングアーティスト パロネージ イン
ジャパン」モンブラン銀座本店

2010 「漆 そのあたらしい表現を巡って」喜多方市美術館

2012 「漆芸 軌跡と未来」東京藝術大学大学美術館

2014 「KIZASHI」ポーラミュージアム アネックス

2017 「会津・漆の芸術祭 2017」福島県会津若松市

2019 「日本漆山脈」阪急うめだ本店

【作品の見どころ】

漆を現代の生活に取り入れようとする時に、どう構成していくか

本企画では、植物や昆虫、家紋などのモチーフを幾何学的な平面に構成した大型フラットパネル作品と、新たな技法で漆の偶発的な表情を引き出した作品、そして両世界観を「小町紅」の紅板（リップパレット）に融合させて生まれた27点の新作をご紹介します。〔展示作品数36点(予定)〕

ポイント その1

グラフィカルな線や紋様を描いた艶やかな平面に、植物や昆虫などが独創的な色彩で構成された岩田氏を象徴するようなパネル作品。無機質な印象を受けますが、画面上に浮かび上がる僅かな漆の厚みや色艶、線の揺らぎが、有機的な一瞬の逡巡を残し妖美な毒を放ちます。



「アンタイトルド」

H90×W90×D3cm

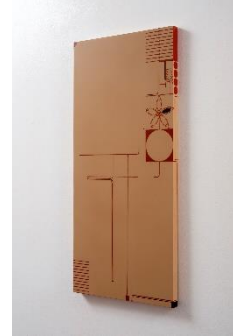


「キクニカタツムリ」

(部分)

リシュモン ジャパン株式会社 モンブラン蔵

Dia60×D11cm



「トリニサクラ」 個人蔵

H58×W35×D2cm

ポイント その2

家紋をモチーフにしたシリーズは、そのままだも完成されたデザインである家紋を「生活に漆を取り入れたときに、現代にどう構成していくか」というフィルターを通して再解釈することで、他にはないインパクトのある作品に昇華しています。



「ウメバチ」H75×W127×D3.3cm 個人蔵



(部分)

ポイント その3

明確な完成予想図に向かって作り上げていく漆工芸本来の技法の対極ともいえる「偶然性の面白さ」を追求した作風も開拓しています。下地を活かし、錆*を付け、漆を含浸し、研ぐ。2年ほど前から始めたマチエールシリーズでは、人為的ではない新たな漆の表情を引き出しています。

*錆とは、漆と砥の粉（とのこ・茶色い岩石を砕いた非常にきめの細かい粉末状のもの）を混ぜたもの。下地として器の表面を整えるために用いられる



「アンタイトル」

H66×W35×D3cm



(部分)

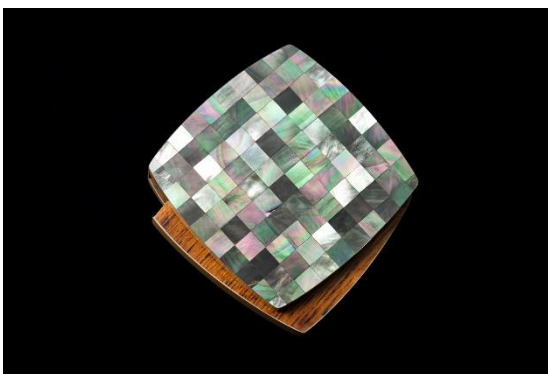
ポイント その4

本企画のために、岩田氏の世界観と紅板とを融合させて特別に制作していただいた新作をご紹介します。紅板とは、紅を携行するための化粧道具で、江戸時代より、象牙や金属、漆器、紙製などに加飾し、趣向を凝らして詠えられました。岩田氏の手仕事が、手のひらサイズに濃縮された珠玉の作品です。



小町紅 クモニサボテン、小町紅 カイナミ

『花鳥風月シリーズ』（表紙写真も同シリーズ）一色の平面のようでありながら、見る角度によって動き出しそうなリアルなモチーフが浮き上がる作品。1mmにも満たない線で描き、乾かし、研ぎ、またその線上に幾重にも同色の色漆で繊細な線が重ねられています。丁寧な手作業を繰り返すことで仕上げられた陰影のみによる表現が秀逸な作品です。



小町紅 螺鈿（白）

『螺鈿シリーズ』

黒蝶貝の光の反射と周囲にまとう漆の艶が複雑な輝きを生み出している螺鈿作品。6mm 角にカットした貝を、一枚一枚升目状に貼りこみ、表面は凹凸なく滑らかに仕上げられています。作り手が意図するそのままの表現ではなく、人知の及ばない表情が表れる面白さを作品にしています。

今回の紅板作品は、一般社団法人 ザ・クリエイション・オブ・ジャパン(CoJ)が行う「企業」と「つくり手」を繋ぐプロジェクト「つくるフォーラム」をご縁に制作されました。

『色面シリーズ』



小町紅 珊瑚色×黒呂色、／深緑×黒呂色

『野辺の花シリーズ』



小町紅 コギク

『錆肌シリーズ』



小町紅 錆肌

【併催講座】

「塗る、研ぐー漆箸制作入門」(全3回)

漆工芸の「塗り」や「研ぎ」を体験していただける講座を開催。木地調整から、色漆で模様をつけて研ぎ出すまでを、普段使いのできる箸の制作をしながら比較的簡単な工程でお楽しみいただけます。



講師：岩田俊彦氏（漆芸作家）

日程：2020年11月29日（日）、12月6日（日）、
20日（日）各回10:30～12:30

会場：紅ミュージアム 2階会議室

定員：6名（定員になり次第受付終了）

参加費：12,000円（全3回分・材料費込み）

※漆は肌につくとかぶれる場合があります。取り扱う際は、必ず講師の指示に従ってください。

【2020年10月20日（火）10:00 申込み受付開始】

申込み方法：電話（03-5467-3735）、伊勢半本店 web サイトお問い合わせフォームより

【作品販売】

紅花から作られる「紅」。日本伝統の色を守り伝える伊勢半本店と、岩田氏のコラボレーション紅板（リップパレット）を、**2020年11月14日（土）**より販売します。

岩田氏の丁寧な手仕事で制作された紅板作品（作品の見どころ「**ポイント その4**」で紹介）に、リフィル式の口紅「小町紅」をセットした特別な仕様です。販売価格は4万円～11万円（税抜）を予定。

また会期中、菓子器や帯留めなど日常に取り入れたい漆作品の数々を販売します。



「紅」と「化粧」、2つの視点から歴史と文化をたどる「紅ミュージアム」

文政八年(1825)の創業より、秘伝とされた紅の製法を受け継ぎ、日本で唯一今も変わらず作り続ける紅屋「伊勢半本店」は、東京・港区南青山にある資料館を **2019年11月**に全面リニューアルしました。「紅ミュージアム」では、紅づくりの技と文化や日本の化粧史をご紹介します。



【施設概要】

館名	紅ミュージアム
所在地	東京都港区南青山6-6-20 K's 南青山ビル1階
電話	03-5467-3735
交通案内	<p>■地下鉄■ 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線 「表参道」駅下車 ・B1 出口より徒歩 12 分 ・B3 出口(エスカレーター・エレベーターあり)より徒歩 13 分</p> <p>■バス■ ＜渋谷駅東口バスターミナル＞ 51 番乗り場：都 01 (新橋駅前行)、RH01(六本木ヒルズ行) 渋谷から 2 つ目の停留所「南青山七丁目」(六本木通り沿い)で下車。 高樹町信号の横断歩道を渡り、左手に 50m ほど進む ※駐車場はございませんので、車でお越しの際は近隣コインパーキングをご利用ください。</p>
開館時間	10:00～17:00(入館は 16:30 まで)
休館日	毎週日・月曜日、創業記念日(7/7)、年末年始 ※本展期間中は、日曜も開館します
入館料	無料
その他	車いす対応トイレ有り、授乳・オムツ替えスペース有り
WEB サイト	https://www.isehanhonten.co.jp/museum/



EDO
TOKYO
KIRARI

東京都が進める「江戸東京きらりプロジェクト」は、江戸東京の伝統ある技や老舗の産品等を新たな視点で磨きをかけ、その価値と魅力を国内外に発信することで、東京ブランドの確立やものづくりの本場・東京の再興、伝統ある産業の魅力向上、技の継承を目指す取り組みです。伊勢半本店は、2018 年度からモデル事業者に選定されています。 <https://edotokyokirari.jp/>

■この件に関するお問い合わせ先 株式会社伊勢半本店 PR 担当 mail@isehan.co.jp

■お客様お問い合わせ先 伊勢半本店 本紅事業部 (平日： 9:30～17:00)
〒107-0062 東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 2F TEL 03-5774-0296
紅ミュージアム (火～土曜日 10:00～17:00)
〒107-0062 東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 1F TEL 03-5467-3735